

全国小学生プログラミング大会



最優秀賞の古山穂高君(中央)ら受賞者＝岐阜新聞本社

古山君(関ヶ原小4) 県代表

ツバメ観察ソフトで最優秀

2021年全国選抜小学生プログラミング大会の県予選(岐阜新聞社、岐阜放送、岐阜聖徳学園大など主催)

は28日、岐阜新聞本社で最終審査が行われ、関ヶ原小(不破郡関ヶ原町)4年古山穂高君(9)が最優秀賞

最優秀賞の古山穂高君のプログラムのトップページ



に輝いた。古山君は、来年3月の全国選抜大会に出場する。

第2回となる全国選抜大会のテーマは「みんなのみんな」。県予選には、個人14人、チーム4団体からゲームやソフトなどのプログラムの応募があった。事前審査を通過した5人が最終審査に臨んだ。

プログラムを解説する3分間の動画が上映された後、審査員がそれぞれ制作の意図、プログラムの仕様などを質問。5人ははきは

きと答えていた。

古山君は、毎春自宅に来るといってツバメの観察日記のソフトとゲーム「ツバメを守ろう」を出品した。「観察も入れると2年3カ月かけて作ったので、最優秀賞を取れてとてもうれしい」

と喜んだ。

その他の受賞者は次の皆さん。

▽優秀賞 中川大空(三里5)、古山青葉(関ヶ原1)▽岐阜聖徳学園大賞 小寺翔大(大垣市東6)▽岐阜新聞社賞 遠藤友志(三里6)